

## 南仏治安情報（7月分）

### （1）テロ、反社会的活動、大規模デモ（邦人被害なし）

#### オード県カルカソンヌ市発生、社会党県本部入口爆破事件

16日、社会党県本部の建物入口鉄製扉と玄関天井が何者かに爆破され大破した。この爆発により向かいの小学校の窓ガラスが一部割れた。爆発物はガスボンベに起爆装置を結びつけた手製のもので、爆発前後に3名の男の姿が目撃されている。現場には「葡萄酒製造活動委員会（非合法組織）の頭文字「CAV」と農相の名字「Le Foll」の落書きが残されていた。モンペリエ司法警察捜査部が本件捜査中であるが、葡萄酒生産業者が卸売業者から受注する際価格の15%を前金として受け取ることを認める法案（現行は前金なし）が断念されたことが原因と見る向きもある。

### （2）殺人（邦人被害なし）

#### ア コルシカ島オート・コルス県発生、強盗殺人事件

3日、Silvarecciu村Castagnicciaの路上に停まっていた車両内に銃で撃たれた男性3名が発見された。うち1名は間もなく死亡、2名は重傷で病院へ搬送された。4人目の同乗者は当初行方不明だったが、6日の夜に現場付近で遺体で発見された。なお、本件はコルシカで本年14件目の銃殺事件となる。

#### イ マルセイユ発生、警官に対する殺人未遂事件

8日、7区にあるカタラン海水浴場において、若者達と親子連れとのケンカの仲裁に入った警官が、逆に若者に抵抗されて海に追いやられ、溺死しそうになった。駆け付けた別の警官が催涙ガスを用いて同僚を救ったこともあり、未遂に終わった。

#### ウ マルセイユ発生、スクーター使用の銃殺事件

22日夕方、10区・11区でスクーターに乗った男2名が車を運転していた40歳男性に対して自動小銃を発砲し、逃げる被害者を追走して街路樹にぶつかったところに数十発の銃弾を浴びせて殺害した。被害者は詐欺や窃盗の犯歴ある「ジプシー」で、同人の車内からはグロック銃、女物カツラ、偽造ナンバープレート、無線機等が見つかった。

#### エ オード県Monze発生、怨恨による殺人事件

23日、道路脇の交通標識下で血まみれの女性遺体が発見された。凶器のクロスボウは現場付近に遺留されており、別の場所ではこの女性の元夫の遺体が発見された。検察は、男が怨恨から女性を殺害し、その後自殺したか或いは女性の現夫によって殺されたかのいずれかと見て捜査を進めている。

#### オ ブーシュ・デュ・ローヌ県レ・ペンヌ・ミラボー発生、殺人・放火事件

29日の夜、ゴミ集積場で火災が発生したとの通報を受けて駆け付けた消防隊員が、頭部を銃撃されて死亡している男性遺体が発見した。警察は、被害者を殺害した者が火を放ったと見て捜査を進めている。

(3) 強盗（邦人被害なし）

ア マルセイユ市発生、宝石店における強盗事件

7月3日夜、11区 La Valentine の宝石店にカラシニコフのような銃を持った2人組の男が押し入り、ショーケースを割って中の宝石を奪いスクーターで逃走した。

イ マルセイユ市発生、民家に対する侵入強盗事件

5日未明、16区 Saint-Andre の民家に銃・斧・剣を所持した男3名が忍び込み、家人を脅した上、宝石類や現金を奪って逃走した。

ウ マルセイユ市発生、ガソリンスタンドにおける強盗事件

7日午前中、15区 Saint-Antoine にあるガソリンスタンドに目出し帽を被った武装集団数名が現れ、店員を脅してレジ内の現金を奪い逃走した。

エ マルセイユ市発生、現金輸送車を狙った強盗未遂事件

8日の朝方、マルセイユ中心街においてカラシニコフで武装した強盗団に現金輸送車が襲撃される事件が発生した。犯人は発砲し、輸送車のフロントガラスが破損したが、未遂に終わった。幸い怪我人は出なかった。

オ マルセイユ発生、強盗致傷事件

28日の夜、8区 Saint-Giniez にある肉屋に長銃を持った覆面の男2名が押し入り、抵抗した店長の頭部を銃底で殴打した。犯人はレジの売上金を奪って徒歩にて逃走した。

カ マルセイユ発生、タバコ店を狙った強盗事件（頻発）

29日午前中、14区 Sainte-Marthe 駅前にあるタバコ店にカラシニコフを持った男3名が現れ、レジ内の現金とタバコを奪って車で逃走した。マルセイユ市内ではタバコ店を狙った同種犯罪が頻発している。

キ カンヌ発生、宝石展示会での多額強盗事件

28日の昼間、男1名が宝石展示販売会でけん銃を出して警備員と観客を脅し、時価総額1億300万円分と見られる宝石を奪い逃走した。警察は、犯人の追跡と並行して同展示会の警備体制についても捜査を進めている。

ク カンヌ発生、時計展を狙った強盗事件

31日午前中、時計店に押し入った男2人が高級時計100～150個強奪して逃走した。手口は、客を装った1名が来店し、エアロック内での簡単な荷物検査を受けた後入店し、隠し持っていた手榴弾で脅しながら自動けん銃を持った共犯者を呼び込み女子店員に手錠を掛けて犯行に及ぶというものであった。

(4) 性犯罪

把握なし

(5) 誘拐・立て籠もり

把握なし

(6) 傷害（邦人被害なし）

マルセイユ発生、ケンカが原因と見られる傷害事件

1日の午前中、10区 Saint-Tronc で、腰など複数箇所をナイフで刺された若者が病院に搬送された。被害原因等は怪我の回復を待って行われる予定。

(7) 薬物関連

マルセイユ、警察による麻薬の押収

7月初週、マルセイユ警察の麻薬根絶部隊が14区内にある2つの麻薬密売組織を壊滅させ、100万ユーロ近い「商品」及び現金を押収した。

(8) その他特異事件

ア BDR県レ・ペンヌ・ミラボー市、武器売買の摘発

4日、30代の外国人部隊兵士2名（ハンガリー人とルーマニア人）が軍の武器を横流ししているとの情報を入手した警察が取引現場を押さえ、現行犯逮捕した。買い手側の車内には12丁の武器があり、売り手側車内には2丁残っていた。

イ マルセイユ各地、革命記念日に便乗した放火事件の多発

14日、革命記念日で盛り上がりを見せたマルセイユ市内では、14日朝8時からの24時間で消防隊の出動が517件もあり、うち茂み等への放火が83件、車両放火が54件、ゴミ箱の放火が79件となる大混乱状態となった。

ウ コルシカ島発生、刑務所内での爆破物発見

19日夜から20日未明に掛けて、オートコルス県にある刑務所内で、脱獄用と見られる爆破装置が発見されたもの。警察は、同爆発物がいかにして刑務所内に持ち込まれたか捜査中である。